

けいはんな分室では京都産業21と協同して、企業、大学等の技術連携、共同研究などを推進し、新技術・新製品の創造を通じた新産業の育成を図ることを目的に、京都大学宇治キャンパス、同志社大学京田辺キャンパスと産学交流会を開催しています。最新の知識や企業情報に触れることができますのでぜひご参加ください。

京都大学宇治キャンパス産学交流会

平成23年度から毎年宇治キャンパスのエネルギー理工学、生存圏、防災、化学の4研究所と各1回、合計年4回開催しています。

交流会は、京都大学の先生の御講演、企業による産学連携の取組の紹介、施設見学の3部構成となっており、特に先生の御講演については、非常に分かりやすく良く理解できたと参加者の多くから感想をいただいています。

また、交流会終了後には先生にも参加いただき懇親会を開催しており、一層交流を深めていただいています。

平成30年度も、6月にエネルギー理工学研究所、9月に生存圏研究所との交流会を開催しましたので、その内容について紹介します。

エネルギー理工学研究所 平成30年6月20日(水)開催



講演会

檜木達也准教授から、航空宇宙分野での需要が最も期待されている耐熱性・耐酸化性・耐水蒸気性を備えたよりすぐれたセラミックス複合材料の開発について、増田開准教授から、核テロ対策のほか、がん治療や創薬開発への応用も期待できる世界初のポータブル核物質検知装置の開発についてお話しいただきました。



施設見学

どちらとも近い将来に実用化が期待でき、「業務に関係する内容であった」「興味のある情報が得られた」などの声をいただきました。

生存圏研究所 平成30年9月19日(水)開催

五十田博教授から、世界で進む高層建物への木材利用の現状と国内での普及に向けた耐火性・耐震性や経済性の課題について、宮



木質ホール

越順二特任教授から、携帯電話の急速な普及などにより身の回りにあふれている電磁波の人体への影響評価についてお話しいただきました。

木造建築と電磁波という異なるテーマの講

演でしたが、約8割の方に「役立つ内容であった」「理解しやすかった」と評価いただきました。



講演会

同志社大学・けいはんな産学交流会

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)

平成30年9月20日(木)開催

こちらも平成13年度から続く歴史ある交流会です。今年度は「けいはんなリサーチコンプレックス」事業と合同で開催しました。「けいはんなリサーチ



同志社大学交流会

コンプレックス」は、けいはんな地域に立地する機関が協力して世界に注目されるようなイノベーション創出を図るための推進基盤で、人材育成の面では、R&Dを通じて新しい事業の創出を担う、クリエイティブ・マインドを持った人材の育成を目指しており、同志社大学・けいはんな産学交流会の目的にも合致するものです。

会の名称は「The Cutting Edge!」(最先端)です。最先端の研究シーズを研究者の方からお話しいただく他、他のセミナーにはない大きな特徴が、同志社大学を始めとした学生によるポスターセッションです。学生が自らの研究成果を発表し、参加者と意見交換する場となっていますので、ぜひ多くの企業の皆さまに参加いただき、学生の研究成果を最先端の技術・製品につなげていく可能性を秘めた交流の場として育てていきたいと考えています。

〈今後の開催予定〉

京都大学防災研究所 平成30年12月3日(月)
京都大学宇治キャンパス
宇治地区研究所本館S棟5階

化学研究所 平成31年2月
同志社大学 平成31年1月

※詳細は随時当センターホームページ

(<https://www.kptc.jp/>)、メールマガジンでお知らせします。